

地方独立行政法人さんむ医療センター
第2期中期目標期間の業務実績に関する評価結果

第2期（平成26年4月1日～平成29年3月31日）

平成29年7月

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会

目 次

*** 中期目標期間の業務実績評価の考え方 ***

〈評価の基本方針〉	1
〈評価の方法〉	1

*** 第2期中期目標期間業務実績に関する評価結果 ***

1 全体評価	
(1) 項目別評価結果	3
(2) 全体評価に当たって考慮した事項	3
(3) 課題・改善の必要な事項について	4
(4) その他	5
○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿	6
○平成29年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過	6
2 地方独立行政法人さんむ医療センター 第2期中期目標期間事業報告書	7

*** 中期目標期間の業務実績評価の考え方 ***

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会（以下「評価委員会」という。）では、平成 22 年 4 月 1 日に設立された地方独立行政法人さんむ医療センター（以下「さんむ医療センター」という。）について、第 2 期中期目標期間の業務実績に関する評価を行った。

<評価の基本方針>

- (1) 中期目標・中期計画の達成状況等からさんむ医療センターの業務運営等に関して多面的な観点から総合的に評価を行い、さんむ医療センター運営の質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取り組み状況を市民に分かりやすく示すものとする。
- (3) 業務運営の改善や効率化等の特色ある取り組みや様々な工夫を積極的に評価するものとする。
- (4) さんむ医療センターを取り巻く環境の変化等を踏まえ、必要に応じて評価の方法を見直すものとする。

<評価の方法>

さんむ医療センターから提出された第 2 期中期目標期間事業報告書における年度別業務実績評価結果を基に、総合評価を項目別に行った。

(1) 項目別評価の方法

項目別評価は、以下の評価委員会による、①小項目評価、②大項目評価の手順で行った。

① 小項目評価

評価委員会において、法人の自己評価及び目標設定の妥当性などを総合的に検証し、小項目ごとの進捗状況について総合評価を行った。

② 大項目評価

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとの総合評価を行った。

大項目・小項目の評価方法

大項目評価は、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の 4 段階により評価する。

A：中期目標・中期計画の達成が計画どおりに進んだ

B：中期目標・中期計画の達成が概ね計画どおりに進んだ

C：中期目標・中期計画の達成が十分でない

D：中期目標・中期計画の達成においては改善事項あり

(2) 全体評価の方法

- ① 評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、全体的な業務実績について、記述式による評価を行った。
- ② 全体評価においては、地方独立行政法人化を契機とした病院改革の取り組み（さんむ医療センター運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善、病院運営の透明性の向上など）を評価した。

第2期中期目標期間業務実績に関する評価結果

全体評価

地方独立行政法人さんむ医療センターは、平成22年4月1日に地方独立行政法人として設立され、救急医療や住民が求める医療サービスの提供に努めるとともに、地方独立行政法人制度の特徴を生かして、サービスの向上と経営の効率化等について積極的な取り組みを行い、患者及び住民の医療ニーズに対し最大限に応えていくことを使命とし、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」という基本的な目標のもと、地域の中核病院として、地域の後方支援病院の立場から、救急医療や一般・高度医療を行い患者サービスの向上に努めた。

第2期中期目標期間において、地方独立行政法人制度の特長である自主性・自律性を発揮し、地域医療の拠点として、前期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ更なる充実を図ると共に、職員が一丸となって医療・保健・介護を検診から在宅まで三位一体で切れ目なく地域住民に提供し安心して暮らすことができる病院運営に取り組んだ結果、中期目標を達成している項目と達成していない項目があったが、医療サービスの向上、病院運営の収支の向上に成果をあげたことは評価できる。

(1) 項目別評価結果 別紙第2期中期目標期間事業報告書のとおり

第2期中期目標期間の業務実績については、以下6つの大項目

- ① 「第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」 B評価
- ② 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」 B評価
- ③ 「第4 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画」 A評価
- ④ 「第7 剰余金の使途」 A評価
- ⑤ 「第8 料金に関する事項」 B評価
- ⑥ 「第9 その他業務運営に関する重要事項」 B評価

の評価において、4段階の評価区分によりA評価2件、B評価4件とした。

(2) 全体評価に当たって考慮した事項

- ① 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の面では、回復期リハビリテーション病棟の増床、一般病棟入院基本料7対1の算定適用、地域医療がん診療病院の指定、電子カルテシステム稼働開始、地域包括ケア病棟38床開設、一般病床の効率化等診療体制の整備並びに休日当番体制や二次救急医療輪番体制等救急医療への取り組みを評価する。一方、看護師の人数が目標に達しなかった面にお

いては、地域包括ケア病棟の開設に伴う目標数の見直しが必要であったことを配慮し **B** 評価とした。

(特筆すべき取り組み)

- ・再開した産婦人科において常勤産婦人科医の増員に努め、平成 28 年 4 月から 3 名体制とし、「産み育てられる街」として分娩体制の充実を図ったこと。
- ・平成 28 年 10 月産婦人科等の混合病棟の改修と移転を実施
- ・平成 28 年 12 月地域包括ケア病棟 38 床開設
- ・医療機器等の整備及び更新を積極的に実施
- ・山武市の人口減少が続く中、基本的に人口動向に比例するといわれる救急受入れ件数が年々増加していること。
- ・地域医療連携の推進においては、平成 28 年 4 月厚生労働省より「地域がん診療病院」として指定を受け、グループ指定病院として地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院と連携体制を構築し、がん拠点病院のない医療圏のがん医療の向上に努めたこと。
- ・看護師の人材確保育成に努めた結果、離職率が低く、中期目標期間中、目標の 10% を下回った。
- ・安全安心な医療を地域に提供すること。

②「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」の面では、緩和ケア医療の推進、D P C 活用、地域包括ケア病棟開設等病床利用率の向上と効果的な業務運営を図った収益の増収を図っている。一方、人件費比率が下がっているものの依然数値が高く **B** 評価とした。

(特筆すべき取り組み)

- ・D P C 活用により病院経営の充実を図ったこと。併せて効果的な後発医薬品（ジェネリック）の採用促進等を図った。
- ・定年退職職員の再雇用制度を活用し、就労環境整備の実施
- ・経営状況は、順調である。医業収支比率向上に努めること。

(3) 課題・改善の必要な事項について

次期中期計画期間に向けての課題及び改善事項は次のとおりである。

- ・地域医療にとって欠かせない内科医の増員を図ること。
- ・地方独立行政法人病院としての運営管理体制の維持向上に努め、今後の医療環境の変化によって、迅速効率的かつ効果的な業務改革を図ることとし、安定した医療サービスの提供を目指すこと。
- ・職員の就労環境の向上に努め、地域医療ニーズに合った医師及び看護師の確保に努めること。
- ・地方独立行政法人制度を活用した人事評価制度のもと適正な給与制度の運用

を円滑に進め、併せて人件費比率の改善に努力すること。

- 地域医療連携の推進として、地域の中核的病院として使命を果たすため、地域医療機関との連携を密にし、紹介者を積極的に受け入れるとともに病状の安定した患者に対しては地域の医療機関への紹介を進める。また、医療連携のための ICT の推進について、施設整備に伴って進めることを検討すること。
- 職員への子育て支援が離職率の低下につながる。職場環境を充実させる中で、院内保育をより充実させるなど、特に女性が働きやすい環境を作り、子育て支援について考慮すること。また、正規職員の短時間勤務制度等を実施することにより職員の働きやすく働き甲斐のある就労環境の整備に努めること。

(4) その他

引き続き、地域の中核病院として、患者中心の医療を行い、信頼される病院運営を行うと共に医師・看護師の確保や人材を育成するなど、就労環境の向上に努め、さらなる安心で信頼できる良質な医療を提供できるよう取り組まれない。

○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	役 職 等
委 員 長	村 上 信 乃	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 名誉院長
副 委 員 長	長 隆	監査法人 長隆事務所 代表
委 員	伊 藤 よしみ	山武郡市医師会 会長
委 員	井 上 智 子	国立看護大学校 校長
委 員	加 藤 誠	成田赤十字病院 院長
委 員	亀 田 信 介	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 院長
委 員	越 川 哲	山武市議会 議長
委 員	松 原 久 裕	千葉大学 大学院医学研究院 教授 医学部附属病院 副病院長
委 員	光 本 篤 史	城西国際大学 副学長

(敬称略、委員は五十音順)

○平成 29 年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過

日 程	審 議 議 題
<p>【 第 1 回 】</p> <p>平成 29 年 7 月 24 日 (月)</p> <p>オークラ千葉ホテル 2階 ブリストル</p>	<p>① 地方独立行政法人さんむ医療センターの次期中期目標期間（平成 29 年度～平成 31 年度）における業務の財源に充当する積立金の承認について</p> <p>② 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける平成 28 事業年度の業務実績に関する評価及び財務諸表への意見について</p> <p>③ 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける第 2 期中期目標期間の業務実績の評価について</p>